

事前評価個表

整理番号	23
------	----

地域（地区）名	嶺北仁淀	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	大豊町ほか9市町村
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は県中部に位置し、北西部は愛媛県、北東部は徳島県と境界を接している。北部には、石鎚山系の笹ヶ峰(1,860m)、瓶ヶ森(1,896m)、筒上山(1,859m)等の高峰群が連なり、急峻な地形を成している。</p> <p>主な水系は、いの町の瓶ヶ森を源流として本地区を横断し徳島県に流下する吉野川及び愛媛県から南東方向に流下し高知平野に注ぐ仁淀川である。吉野川流域には、大森川ダム、長沢ダム、大橋ダムそして四国の水瓶である早明浦ダムが、また、仁淀川流域には、大渡ダム、筏津ダムがあり、これらの水資源は本県はもとより徳島県及び香川県の生活や産業になくってはならないものである。</p> <p>本地区の森林の現況を見ると、民有林面積は136千ha、蓄積量は63,352千m³であり、国有林を含めると区域面積の約85%を森林が占めている。その内、人工林面積は、97千ha（人工林率は72%）であり、8齢級以上のスギ・ヒノキが91千ha(94%)を占め、本格的な利用期を迎えている。</p> <p>これらの背景から本地区では、森林資源を有効に活用するため主伐や搬出間伐とともに、主伐後の再造林、保育間伐等を適切に実施し、水源涵養や山地保全等といった森林の有する公益的機能が高度に発揮される「健全な森づくり」を推進する必要がある。</p> <p>このため、本地区では各市町村が策定した森林整備計画に基づき、森林の有する公益的機能に配慮した森林整備を推進している。また、森林資源の適正管理及び有効活用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進しており、森林施業の集約化や高性能林業機械の導入等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減及び間伐材等の利用拡大を目指している。</p> <p>本事業は、効率的な森林施業及び木材等生産機能の基盤となる路網を整備するとともに、森林経営計画等に基づく保育間伐や搬出間伐、再造林等の森林整備を実施し、森林の有する多面的機能の維持増進を図るものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,238ha 人工造林、下刈、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：16,136m 林道開設、改良</p> <p>総事業費：12,687,919千円（税抜き 11,534,472千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.82</p> <p>（総便益（B）=50,839,820千円、総費用（C）=13,310,430千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 本地区は人工林面積のうち8齢級以上の林分が94%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、再造林や保育、間伐等の森林整備が必要となるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化を図るとともに、効率的な森林整備の実施に不可欠な路網整備を一体的に進める計画となっており、費用対効果分析結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 再造林や保育、間伐等の森林整備を実施することで、森林の有する公益的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

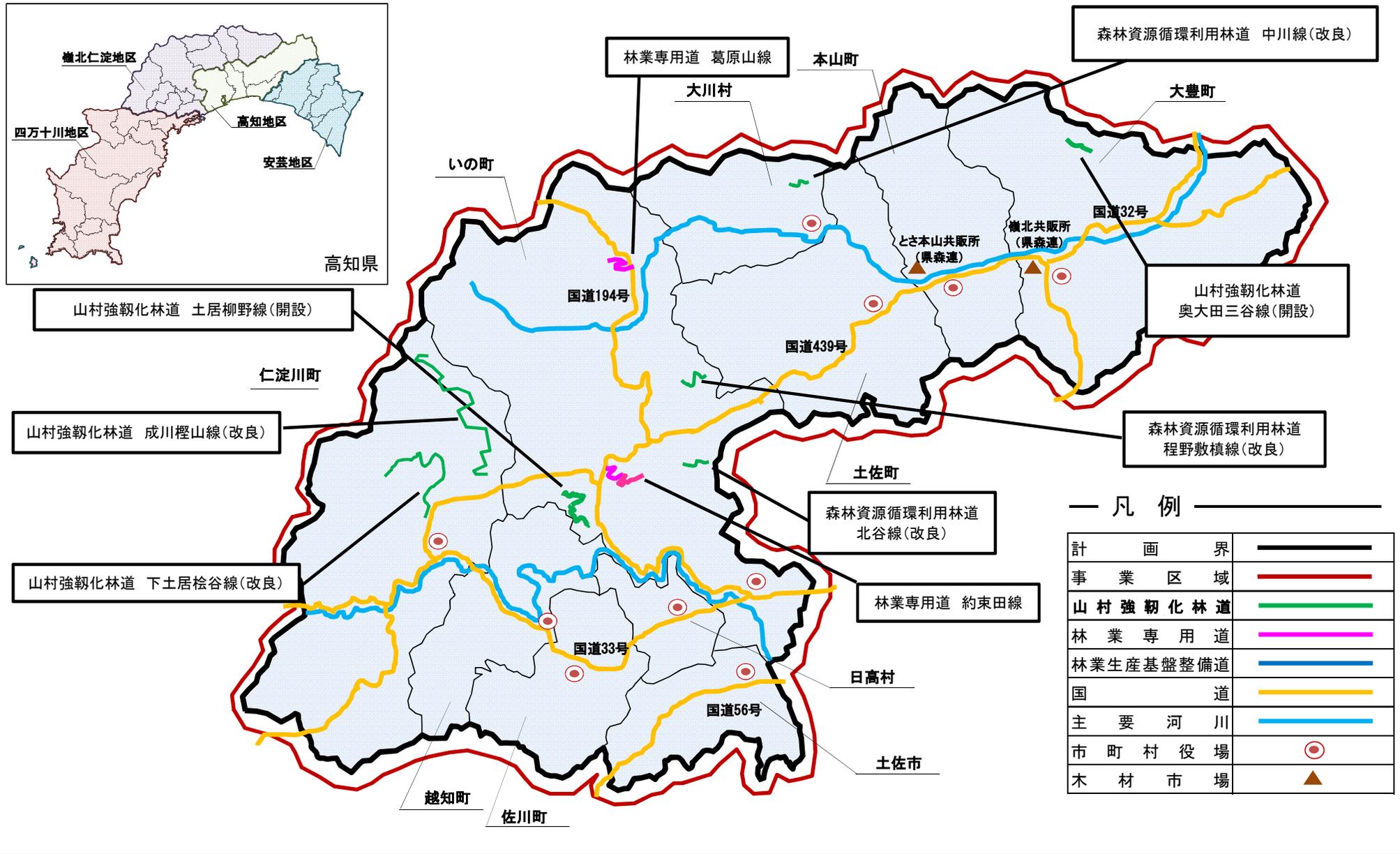
都道府県名：高知県

地域(地区)名：嶺北仁淀

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	13,383,219	
	流域貯水便益	4,044,459	
	水質浄化便益	12,840,098	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,754,195	
環境保全便益	炭素固定便益	2,840,198	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,472,528	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	5,505,123	
総 便 益 (B)		50,839,820	
総 費 用 (C)		13,310,430	
費用便益比	$B \div C = \frac{50,839,820}{13,310,430} = 3.82$		

森林環境保全整備事業 嶺北仁淀地域(高知県) 概要図



凡例

計画界	——
事業区域	——
山村強靱化林道	——
林業専用道	——
林業生産基盤整備道	——
国道	——
主要河川	——
市町村役場	○
木材市場	▲